

## コードやプラグなど配線器具の事故が多発しています

### こんな使い方をしていますか？



コードを曲げたり

#### 事例 引っ張ったりする

ヘアドライヤーから火花が散って、手にやけどを負った。(2011年2月 東京都)

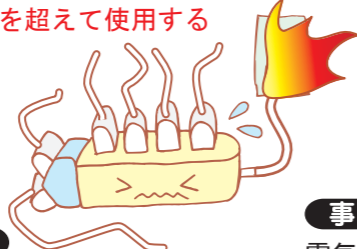
#### 原因

使用中や収納時にコードのつけ根部分を曲げたり引っ張ったりしていたため、断線したものです。

コードを踏み付ける



定格容量を超えて使用する



#### 事例

延長コードを接続していたコンセント付近から出火し、壁が焼けた。(2011年2月 奈良県)

#### 原因

延長コードの許容電流を超える多くの電気製品をたこ足配線でつないでいました。そのため、電源プラグのコード部分が異常発熱して、発火したものです。

#### 事例

電気ストーブのヒーター付近から発火し、周辺が焦げた。(2011年2月 栃木県)

#### 原因

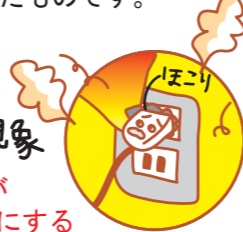
本体内部の電源コードを自ら修理をした際に接続が不完全だったため、接触不良が生じて異常発熱し、ショートして発火したものです。

素人修理をする



#### トラッキング現象

ほこりや水分が付いたままにする



製品事故に関する情報は以下のアドレスでご覧いただけます。

#### 【NITE(ナイト)】

事故情報や社告・リコール情報等の検索のほか、注意喚起チラシなどのダウンロードができます。

<http://www.jiko.nite.go.jp/>

#### 【経済産業省】

新着情報、リコール情報、製品安全にかかわる政策情報などをご覧いただけます。

[http://www.meti.go.jp/product\\_safety/index.html](http://www.meti.go.jp/product_safety/index.html)

製品事故等が発生したら...

消費者庁、お近くの消費生活センターにご連絡ください。

経済産業省 商務流通保安グループ 製品安全課 製品事故対策室



TEL 03-3501-1707

URL [http://www.meti.go.jp/product\\_safety/](http://www.meti.go.jp/product_safety/)

NITE・製品安全センター 製品安全調査課



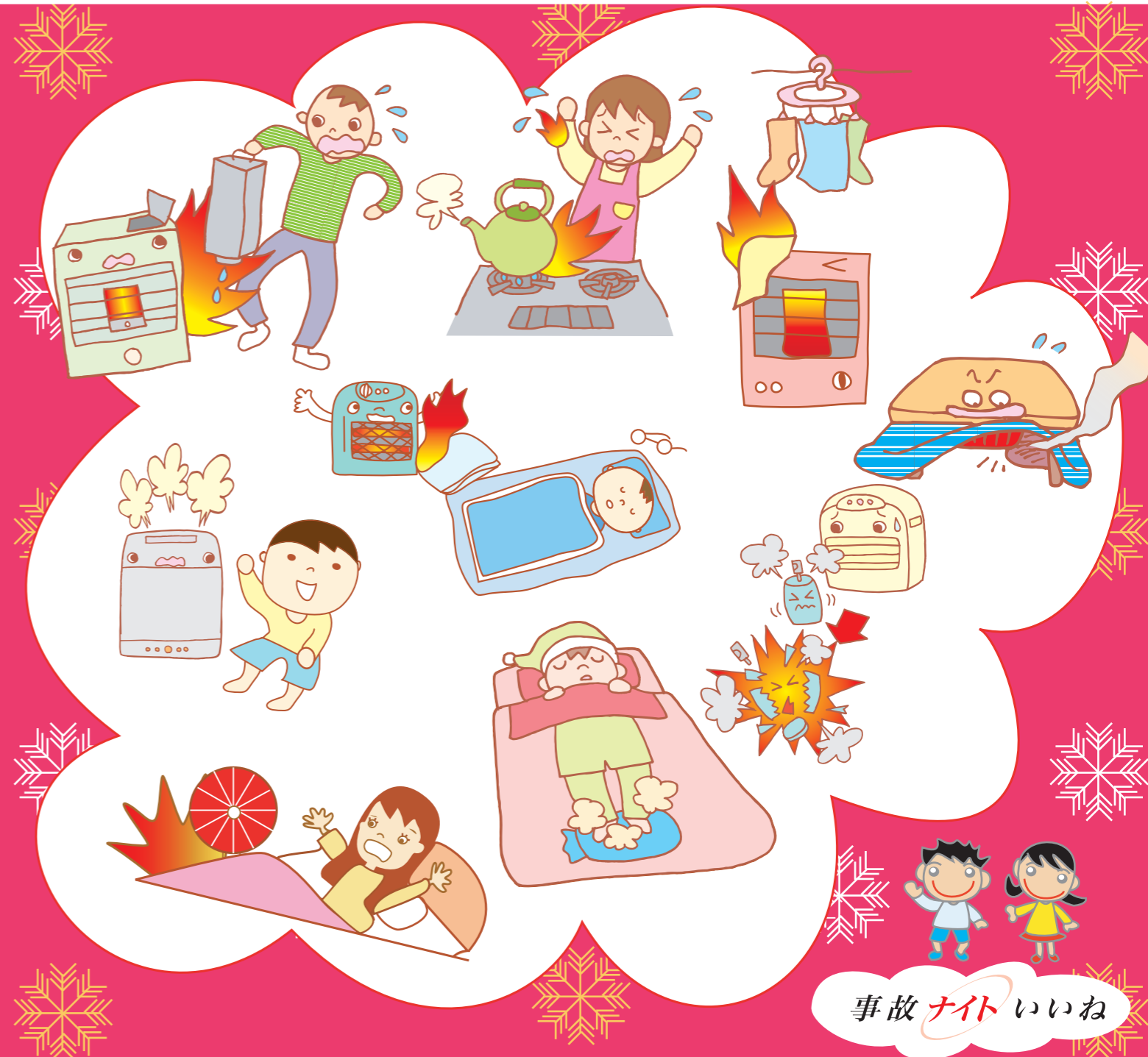
TEL 06-6942-1113

URL <http://www.jiko.nite.go.jp/>

2012年10月

# つい、つい、うっかりが 思わぬ事故に

取扱説明書をよく読んで正しく使用しましょう



事故 ナイト いいね

## 石油ストーブの火を消さずに給油し、火災

### 事例

火災が発生した。  
(2011年1月 大阪府)

### 原因

石油ストーブの火を消さずにカートリッジタンクに給油したところ、カートリッジタンクのふた（ネジ式）の締め方が不完全だったため灯油がこぼれ、ストーブの火に引火したものです。



石油ストーブに給油する際は、必ず火を消してください。カートリッジタンクのふたが完全に締まっているかどうか必ず確認してください。ガソリンと灯油を間違えないでください。

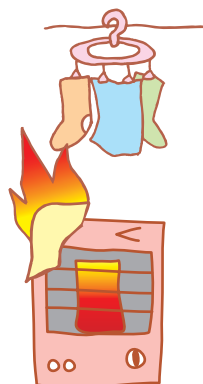
## 石油ストーブに洗濯ものが落下し、火災

### 事例

近隣の建物が全半焼する火災が発生し、1人がやけどを負った。  
(2010年3月 新潟県)

### 原因

石油ストーブの上で干していた洗濯ものが落下して火がついたものです。



洗濯ものをストーブの上や周辺に干して乾かさないうでください。乾燥して軽くなった洗濯ものが、上昇気流にあおられてストーブに落下することがあります。また、タオルやカーテンなど燃えやすいものの周辺に置かないでください。

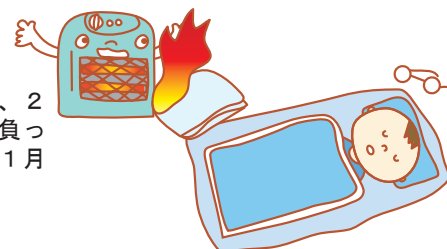
## 電気ストーブに布団が触れ、火災

### 事例

火災が発生し、2人がやけどを負った。  
(2010年1月 滋賀県)

### 原因

電気ストーブをつけたまま就寝したため、布団がストーブのガード部分にふれて火がついたものです。



寝るときは必ず電源スイッチを切ってください。寝返りを打った際、布団や近くに置いていた毛布等がストーブに触れるとヒーターの熱で火がつくことがあります。

## 注意 社告・リコール中 ハロゲンヒーター、石油ストーブ等の暖房器具で事故



ハロゲンヒーター(右・中央)、石油ストーブ(左)は社告・リコール該当製品の一部です。

社告・リコール中のハロゲンヒーターやカーボンヒーター、石油ストーブ等の暖房器具で事故が多発しています。お使いの製品が該当製品でないかNITEホームページで確認してください。

<http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/leaflet.html>

## ガスコンロの火が服に燃え移って死亡

### 事例

ガスコンロとその周辺を焼く火災が発生し、1人が死亡した。  
(2011年1月 千葉県)

### 原因

調理中、衣服に火がついたものです。



火や熱源を持つガスコンロなどを使用する際は、衣服やエプロンのすそ、ひざ掛けなどが触れないように注意してください。

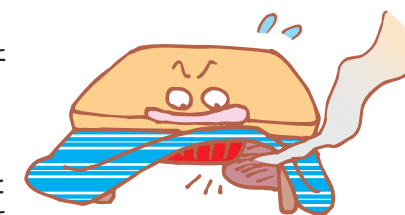
## こたつが変形して、布団が焦げた

### 事例

電気こたつの外枠が変形し、ヒーターカバーとこたつ布団が焦げた。  
(2011年2月 奈良県)

### 原因

こたつの中にこたつ布団を押し込んでいたため、ヒーターユニットと接触して焦げたものです。焦げたこたつ布団の熱により外枠が変形したものです。



電気こたつの中でこたつ布団や座いす、座ぶとん等がヒーターユニットに接触しないようにしてください。洗濯ものを乾かして火災になることもあります。また、断線の原因になりますので電源コードをこたつの脚で踏んだり、折り曲げたりしないでください。

## スプレー缶が爆発し、火災

### 事例

石油ファンヒーターを使用中、スプレー缶が爆発して火がつき、消火の際にやけどを負った。  
(2011年1月 大阪府)

### 原因

スプレー缶(殺虫剤)がファンヒーターの温風で加熱され、内圧が上昇して破裂し、噴射剤の可燃性ガスがファンヒーターの火が引火したものです。



噴射剤に可燃性ガスを使用しているスプレー缶をファンヒーターの前に置いたところ、熱で膨張して噴き出したガスが引火しました。(再現実験)



カセットボンベやスプレー缶などをストーブ、ガスコンロなど熱源の近くに置かないでください。加熱されると内圧が上昇して破裂・爆発し、噴き出した可燃性ガスが引火して危険です。

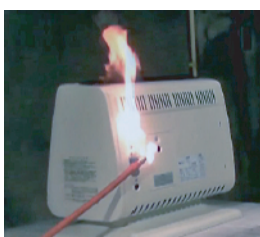
## ガスストーブから出火

### 事例

使用中のガスストーブのガスホース接続部から炎が出て、周辺が焼けた。  
(2010年1月 東京都)

### 原因

専用のガスコードではなく、ガス用ゴム管を接続していたため、接続口からガスが漏れてストーブの火に引火したものです。



不適正なゴム管を使用したためガスが漏れて引火しました。(再現実験)



ガス栓とガス機器の接続は適正な接続具を使用してください。使っていないガス栓は専用の閉栓カバーをかぶせるなど誤って開かないようにしてください。接続は赤い線まで差し込んでゴム管止めで抜けないようにしてください。ソケットにごみなどがはさまっていないことを確認してください。

## ゆたんぽで低温やけど

### 事例

ゆたんぽをカバーに入れて使っていたら、低温やけどを負った。  
(2010年11月 埼玉県)

### 原因

長時間、ゆたんぽに接触していたため、低温やけどを負ったものです。



低温やけどとは？  
比較的低い温度(44℃~50℃)でも長時間にわたって皮膚の同じところに触れていると筋肉などが壊死するために「低温やけど」を負います。44℃では3~4時間以上、50℃では2~3分で「低温やけど」になるといわれています。



ゆたんぽや電気あんかは、厚手のタオルや専用のカバーなどで包んでも低温やけどを負うことがあります。就寝前にふとんの中に入れて、温まったらゆたんぽをふとんから出し、電気あんかはスイッチを切ってください。

「低温やけど」は、ゆたんぽやこたつなどの暖房器具のほか、カイロ、ノートパソコン、携帯電話などでも発生しますので、長時間、同じ部位が触れないようにください。また、違和感や熱いと感じたら直ちに使用を中止してください。

## 加湿器で乳児がやけど

### 事例

乳児が加湿器でやけどを負った。  
(2009年10月 大阪府)

### 原因

床に置いていた加湿器の蒸気吹き出し口に乳児が触れたものです。



子どもの手の届くところに、置かないでください。転倒しないように安定した場所で使用してください。使用中は持ち運ばないでください。